

S-Stage ボアアップキット 106cc スカット 取扱説明書

製品番号	01-05-5311
	01-04-0117(シリンダーキット)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

適応車種及び フレーム番号	モンキー / ゴリラ (Z50J-2000001 ~)
	(AB27-1000001 ~)
	CD50 (CD50-1500001 ~)
	CL50 (CL50-4000001 ~)
	スーパーカブ 50 (C 50-9000001 ~ 0095210)
	(C 50-0200001 ~ 0999999)
	(C 50-2100001 ~ 2299999)
	(AA01-1000001 ~ 1699999)
	リトルカブ (C 50-4300001)
	(AA01-3000001 ~ 3699999)
	ダックス (AB26-1000001 ~)
	CRF50F (AE03-1400001 ~)
	XR50R (AE03-1000001 ~)

使用燃料についてのご注意

S-Stage キットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合は C8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

急発進・急加速についてのご注意

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

当キット使用についてのご注意

当キット取り付けには、強化クラッチ（フリクション3枚タイプ以上の物）と強化オイルポンプが必要となります。（モンキー / ゴリラ / CD/DAX/CRF50F）
当キット取り付けには、強化遠心クラッチ（32枚ウェイト）と強化オイルポンプが必要となります。（カブ 50 / リトルカブ）
※この取り付け部品をつけていない場合、保証の対象にはなりません。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種への変更（注：登録手順は各市町村により異なる恐れがあります。）を行い、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。
- ◎現在、原付2種の登録をされている方で排気量に変更がある場合は排気量変更登録等を全て済ませて下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎01-04-0117(シリンダーキット)は、弊社製スーパースポーツカムシャフトとの併用が前提となります。ご注意下さい。
- ◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックス及びエアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。
- ◎シリンダー部より聞こえてくる音が大きく感じる事があります。
- ◎この取扱説明書に記載の作業はモンキーとカブの車両を主体としており、他の適応車両には適さない場合があります。予めご了承下さい。
- ◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
- ◎外気温が高い場合はオイルクーラーの取り付けと使用をお勧めします。
- ◎ノーマルマフラー及びノーマルキャブレターでの走行も可能ですが、ポテンシャルが充分発揮出来ませんので、マフラー及びキャブレターの交換をお勧めします。

～特徴～

- デコンプレッサー機構付きカムシャフトを採用することで、106cc化されたS-Stage(SCUT)ボアアップキットでも、ミッションやキックシャフト等への負担を軽減する事が出来、従来より軽いキック力でのエンジン始動が可能になりました。シリンダーにはオイルジェットを設け、ピストン、コンロッドの潤滑や冷却を行います。

！ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り適法運転を心掛けて下さい。（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ガasket、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Lesson

◇ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。

◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。

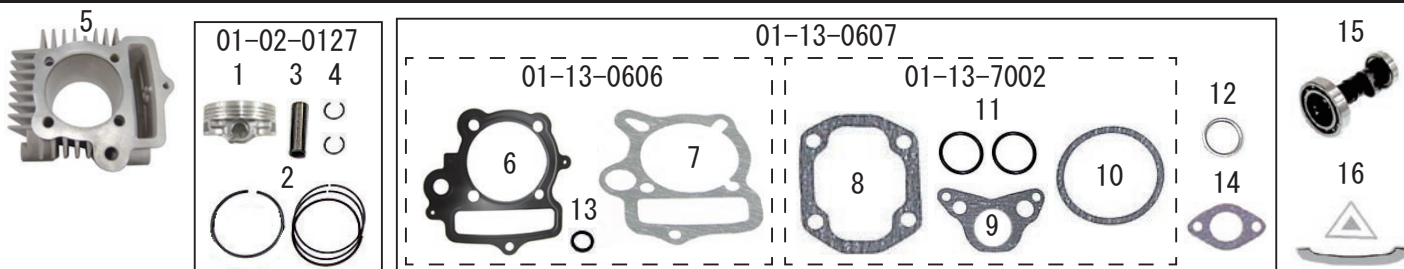
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。

◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではPL法(製造物責任法)によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。

但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。

◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

製品内容



番号	部 品 名	個数	リペア品番	番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン	1		12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ヶ入り)
2	ピストンリング	1	13012-RAS-T00	13	ラバーパッキン	1	00-01-0066 (2ヶ入り)
3	ピストンピン	1	00-01-0091 (クリップ付)	14	インレットパイプガスケット	1	91301-181-T01
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003 (6ヶ入り)	15	カムシャフト COMP.	1	01-08-0009
5	シリンダー	1	01-01-0220	16	原付2種マークセット	1	TS-001-001
6	シリンダーヘッドガスケット	1	12251-GFL-T10				
7	シリンダーガスケット	1	00-01-0067 (2ヶ入り)				
8	ヘッドカバーガスケット	1					
9	右サイドカバーガスケット	1	01-13-7002				
10	左サイドカバーガスケット	1	(0リング2ヶ入り)				
11	タペットキャップOリング	2					

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

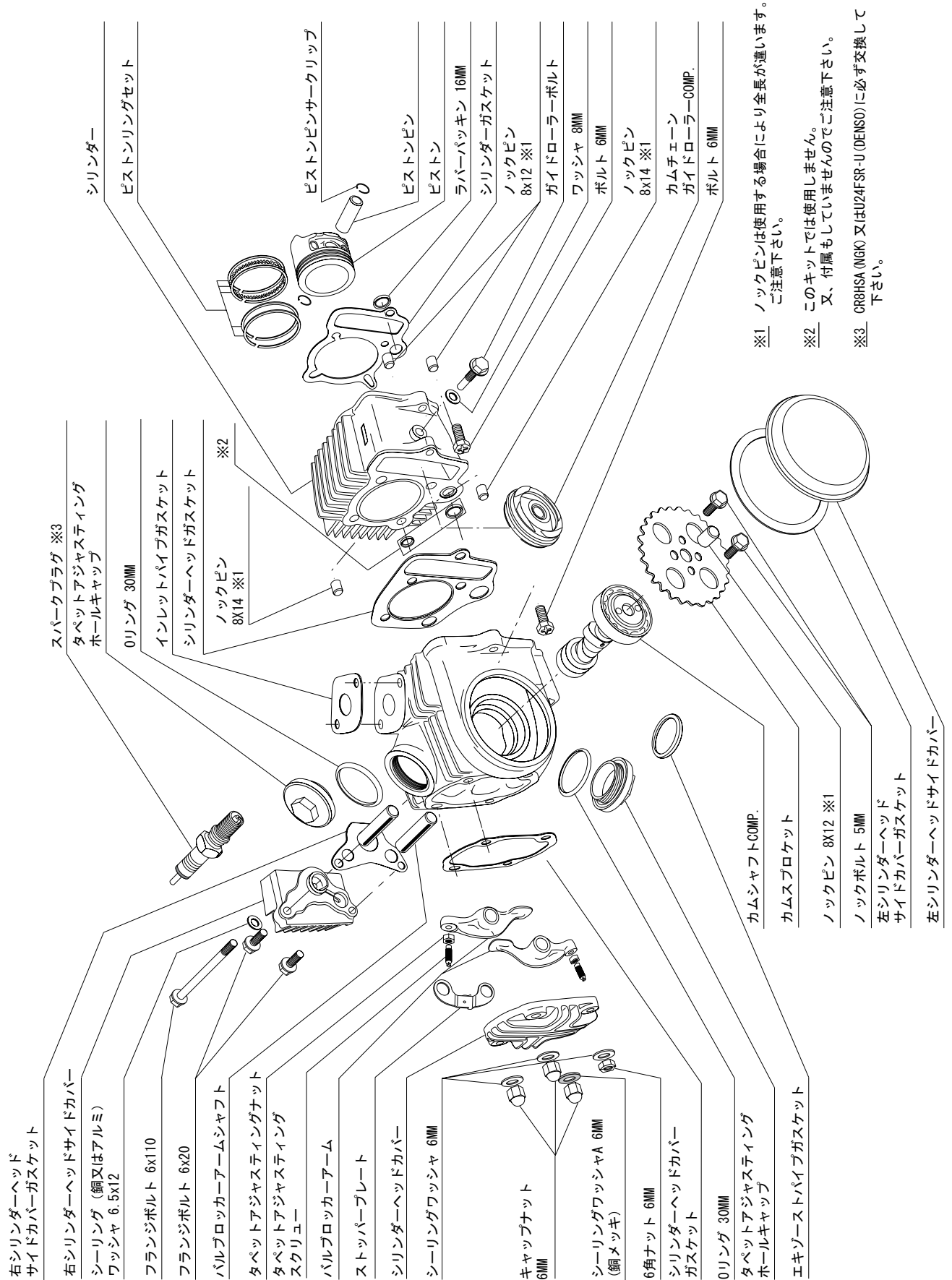
品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

※部品番号 15、16 は 01-04-0117 (シリンダーキット) には含まれません。

◇取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	11	プラグレンチ (車載工具)
2	プラスチックハンマー	12	ラジオペンチ
3	カッターナイフ	13	シクネスゲージ
4	スパナ 10-12	14	マイナスドライバー (極細先)
5	スパナ 12-14	15	ジョイント (中)
6	スパナ 14-17	16	ジョイント (小)
7	メガネレンチ 10-12	17	ボックスレンチ 14mm
8	メガネレンチ 12-14	18	ボックスレンチ 12mm
9	メガネレンチ 14-17	19	ボックスレンチ 10mm
10	プラグレンチハンドル (車載工具)	20	ラチェットレンチ



※1 ノックピンは使用する場合により全長が違います。
ご注意ください。

※2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意ください。

※3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR-U (DENSO) に必ず交換して
下さい。

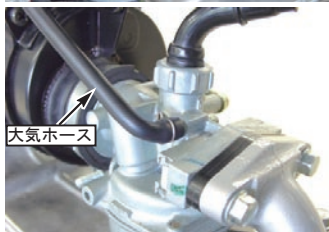
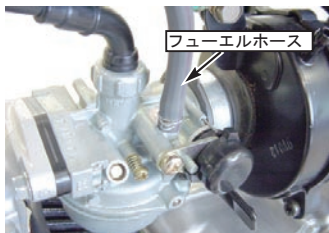
STD 部品取り外し

1. キャブレターを取り外す (モンキー)

◇ガソリントank左下部にある
ガソリンコックをOFFにする。



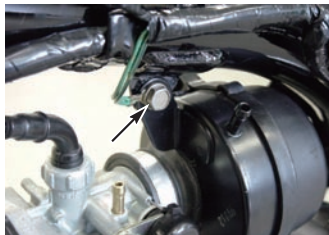
◇フューエルホースと大気ホース
を取り外す。



◇ストレージタンクのホース
(フレーム No. AB27-の車両の
場合)を抜き取る。



◇エアクリーナーステー部のボル
トを取り外す。



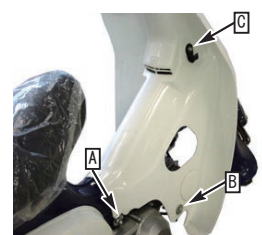
◇シリンダーヘッドとインレット
パイプを止めているボルト2本
を取り外す。



◇スロットルケーブルを取り付け
たままキャブレター ASSY. を
左前方のウインカーに引っかけ
ておく。

(カブ)

◇A(12mm ふくろナット)、B、C
(10mm ボルト)を反時計回りに
回して外し、ワッシャ等も同時に
取り外します。
左側も同様に外します。



◇キャブレター左下部にあるガソリ
ンコックをOFFにする。



◇フューエルコックの2つのネジを
反時計回りに回して取り外す。



◇シリンダーヘッドとインレット
パイプを止めているボルト2本を
反時計方向に回し取り外す。



◇ダクトを上引っ張り外す。



◇エアクリーナーのボルトを左右
両側とも反時計方向に回し取り
外す。



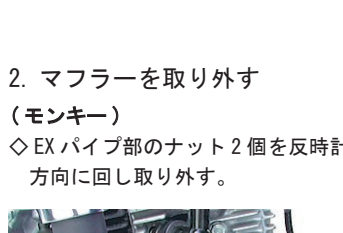
◇ホーンの線を取り外す。



◇ワイヤーを束ねているベルトを
外す。



◇スロットルケーブルとチョーク
ケーブルを取り付けたままキャブ
レター ASSY. を車体から離し左
前方のウインカーに引っかけて
おく。

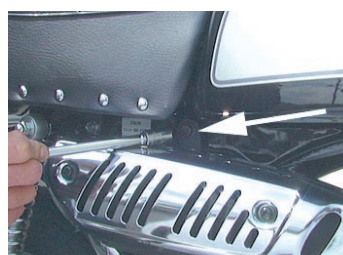


2. マフラーを取り外す (モンキー)

◇EXパイプ部のナット2個を反時計
方向に回し取り外す。



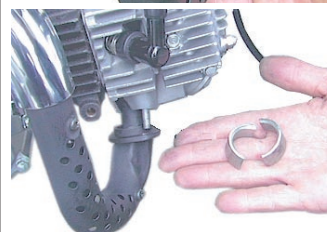
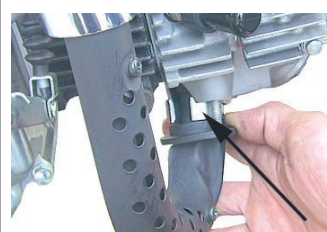
◇マフラー本体を止めている6角
ボルトを反時計方向に回し取り
外す。



◇マフラー本体裏側に止まっている
ナットを反時計方向に回し取り
外す。



◇フランジのカラー2個を取り
外し外側に引く様にしてマフ
ラーを車体から取り外す。



(カブ)

◇EXパイプ部のナット2個を反時
計方向に回し取り外す。



◇マフラー本体を止めている6角
ボルトを反時計方向に回し取り
外す。



◇マフラーを外側に引く様にして
車体から取り外す。
このとき、リング状のマフラー
ガスケットを無くさないように
注意する。



3. フロントフェンダーを取り外す

(モンキー)

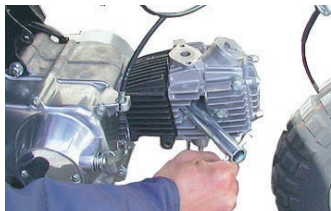
◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を反時計方向に回し取り外す。



4. スパークプラグを取り外す

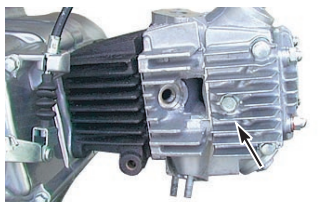
◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。
必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。

◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。



5. シリンダーヘッド左カバーを取り外す

◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。
(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2～3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)

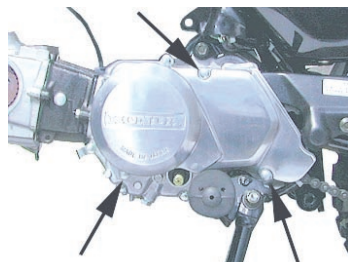


6. クランクケース左カバーを取り外す

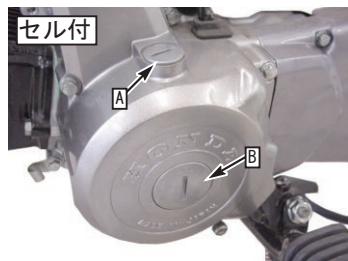
◇シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。



◇セル付の場合は、A、Bの2つを反時計回りに回して外します。



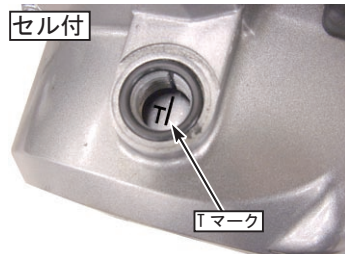
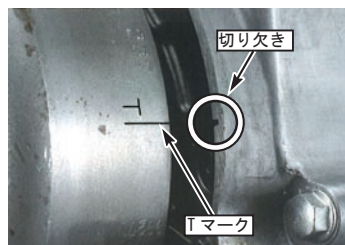
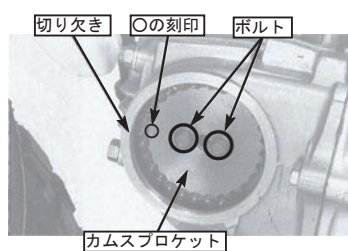
7. タペットキャップ2個を取り外す

◇タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。

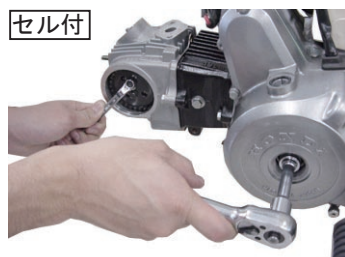


8. カムプロケットを取り外す

◇フライホイールのTマークとカムプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



◇フライホイールを固定しカムプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



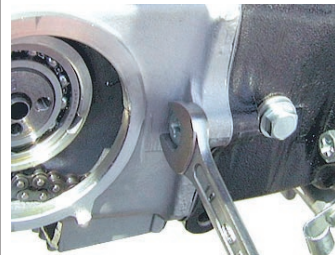
◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
◇カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。

◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

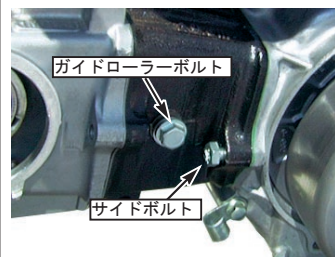


9. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す

◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

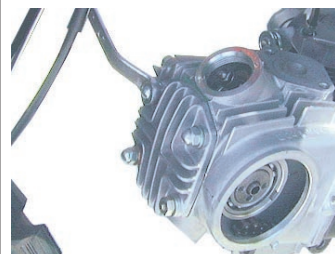


◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。

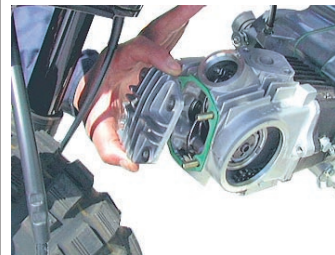


10. シリンダーヘッドカバーを取り外す

◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。
◇ナット下にあるワッシャー4枚を取り外す。



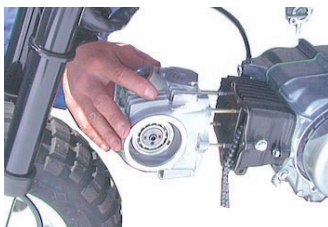
◇ヘッドカバーを取り外す。
(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。



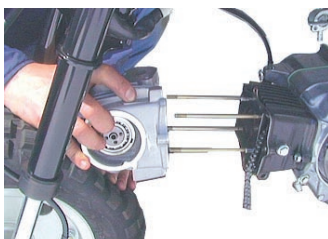
11. シリンダーヘッドを取り外す

(モンキー)

- ◇フロントタイヤの空気を抜く。
(プラスドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音が出なくなるまで押し続けます。)
- ◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。
(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)

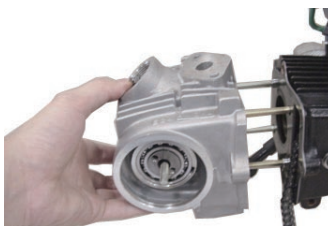


- ◇フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。
ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただいたと思います。
- ◇ノックピン 2 個は再使用するので取り外しておく。



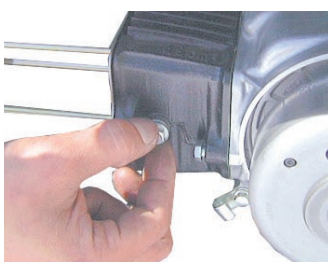
(カブ)

- ◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。
(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
- ◇ノックピン 2 個は再使用するので取り外しておく。

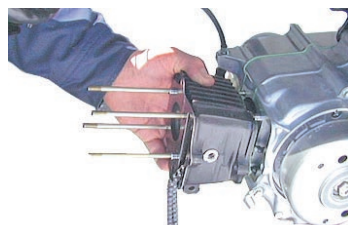


12. シリンダーを取り外す

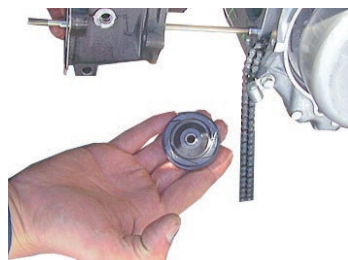
- ◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



- ◇シリンダーを引っ張って取り外す。
(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



- ◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



- ◇ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。



13. ピストンを取り外す

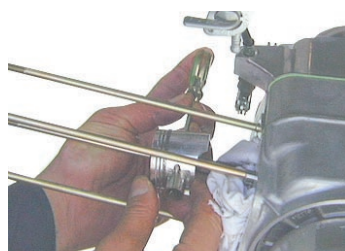
- ◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



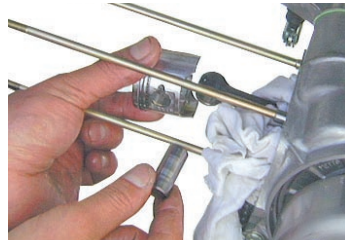
- ◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れる。



- ◇ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。

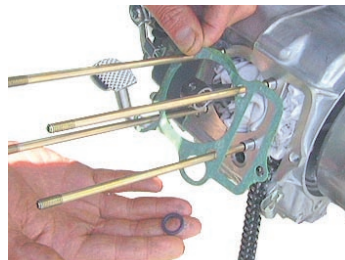
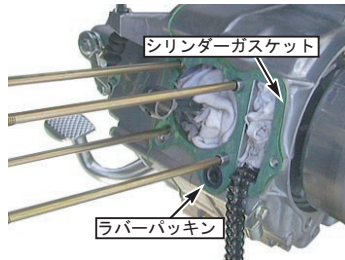


- ◇ピストンを取り外す。



14. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

- ◇ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



15. クラッチ及びオイルポンプの取り付け

- ※当キットを使用するには、オイルポンプとクラッチの強化が必要です。

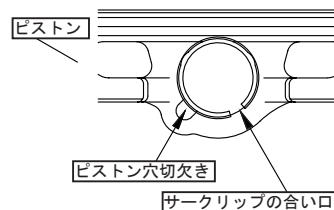
- ※クラッチ及びオイルポンプは、現時点での作業からの取り付けが大変行い易いです。

S-Stage キット取り付け

1. ピストンを組み付ける
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けする事。



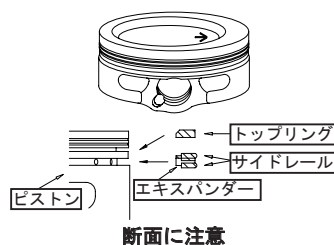
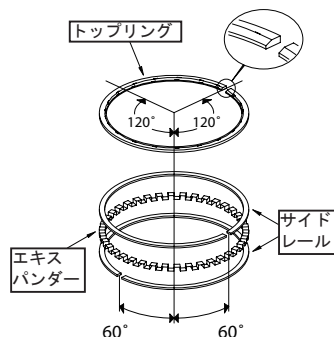
- ◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。



- ◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
- ◇ピストンピンサークリップは左側を先にはめ込みます。



- ◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、トップリングの順に取り付ける。
- ◇ピストンリングの合い口をそろえる。



断面に注意

◇オイルリングエキパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。



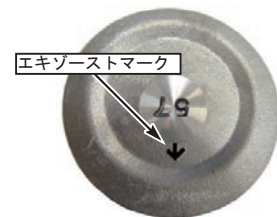
◇トップリングを入れる。



◇ピストンピン部とコンロッド小端部にエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。



◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。



◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。

◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う事。目に入らぬように防護めがねなどを着用する事。

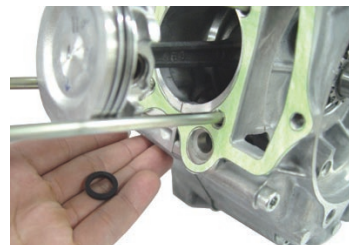


◇詰めていたウエスを取り外す。

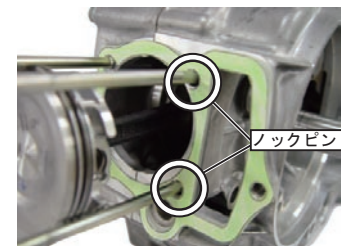
2. シリンダーの取り付け

◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

◇シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



◇ノックピン2個が取り付けられているか点検。



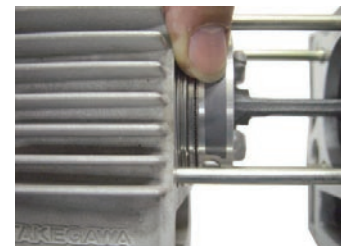
◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



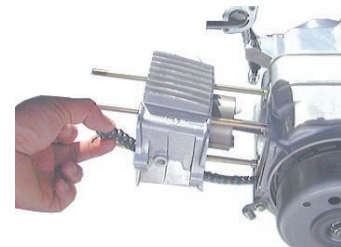
◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



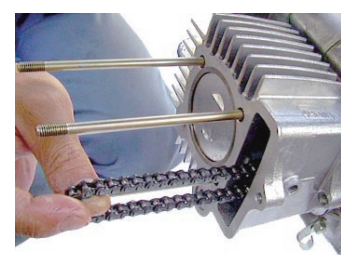
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し1本づつはめる。



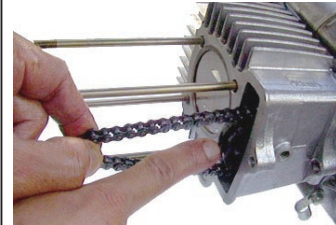
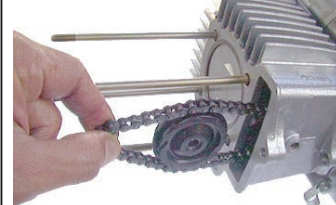
◇ピストンがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースに取り付ける。



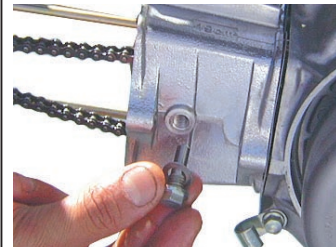
◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
(指で閉まる程度まで仮止め)



◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。
(指でしまる程度まで仮止め)



3. カムシャフト交換

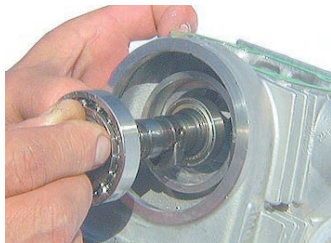
◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットアジャスティングナットとタペットアジャスティングスクリューを取り外す。タペットアジャスティングナットを緩めた時点でタペットアジャスティングスクリューと一緒に取り外す。



◇カムシャフトにカムプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



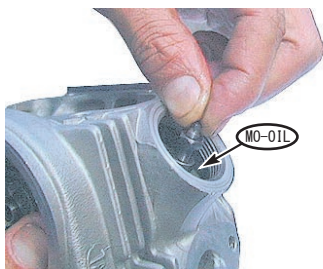
◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付け。
カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず入れる。



◇ノーマルカムのノックピンをキットカムに取り付ける。



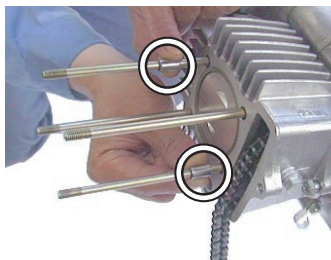
◇ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付け。



4. シリンダーヘッド取り付け

◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。

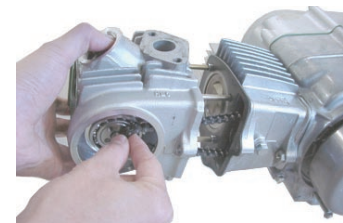
◇シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



◇ヘッドガasketを取り付ける。

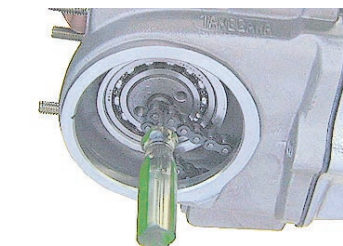


◇シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通して取り付け。

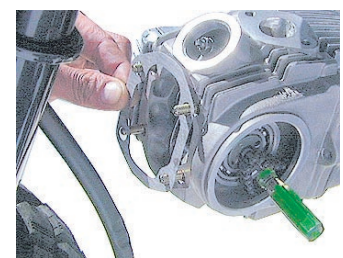


◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通して取り付け。

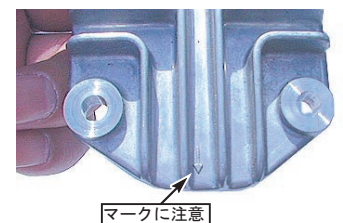
◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。

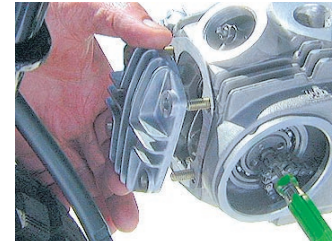


◇矢印は下の方向です。



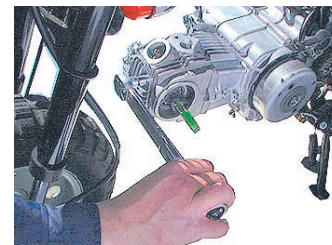
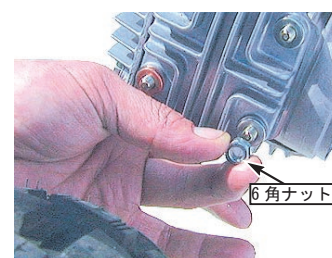
マークに注意

◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。
(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が6角ナット残りの3つがふるナット)



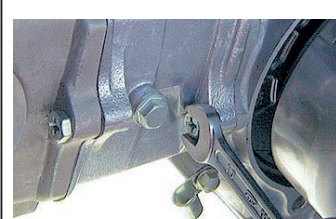
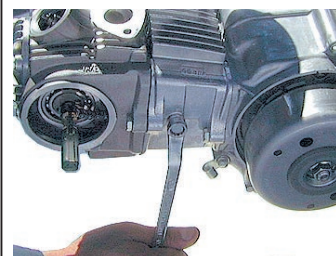
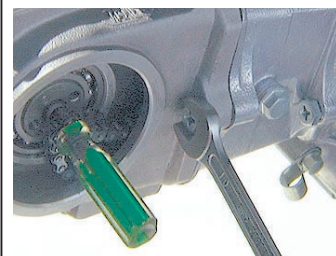
◇ヘッドナットを均等に締め付ける。
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



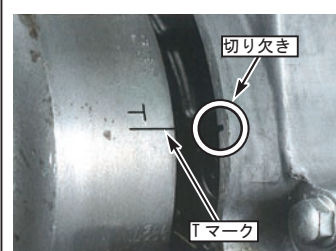
◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



5. カムプロケットの取り付け

◇フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。

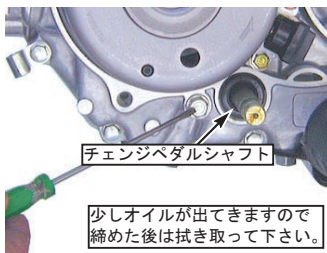


◇カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けた時、カム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点になる。

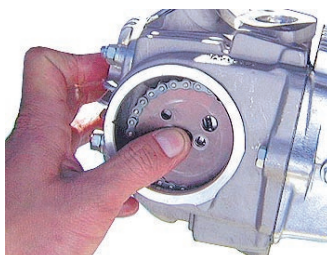
※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って取り付ける。



◇チェンジペダルシャフトの横にある6角ボルトを取り外す。
(カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンをはめ易くなる。)

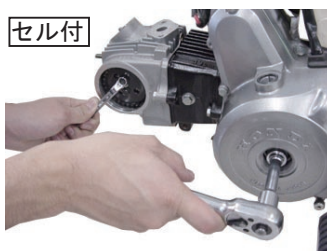
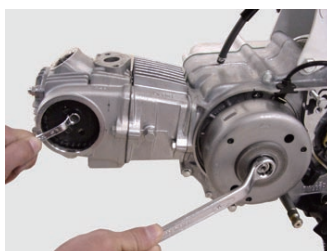


◇カムプロケットの '0' マークとシリンダーヘッドの切り欠き部とが合う様にカムチェーンをかけ、カムシャフトに取り付ける。



◇フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
カムプロケットボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



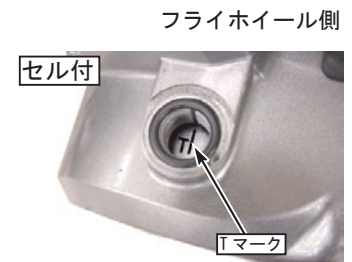
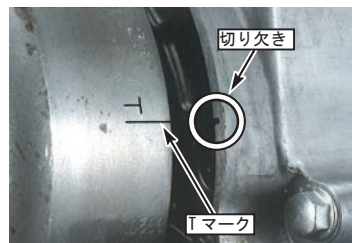
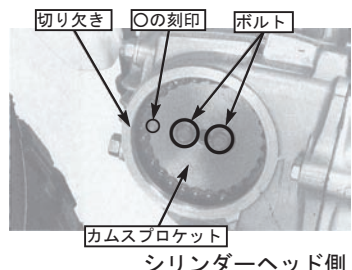
◇チェンジペダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

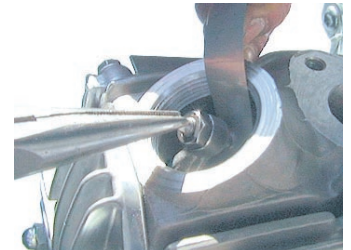
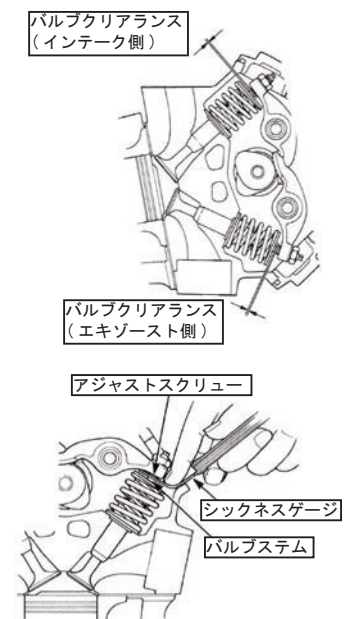


6. バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

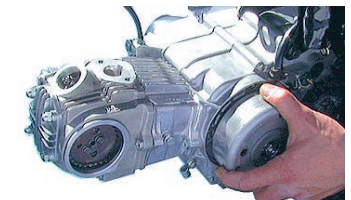
◇カムシャフトのOマークとフライホイールのIマークがそれぞれの切り欠きに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットとフライホイールが同時に合えばOK。



◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。
(少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03が緩く入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる)



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でIマークとOマークを合わせる。

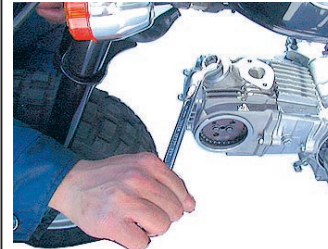
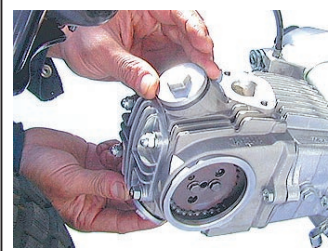


◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、くるっている場合は再度調整する。



◇タペットキャップ2個を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
タペットキャップ
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



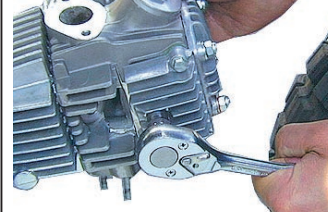
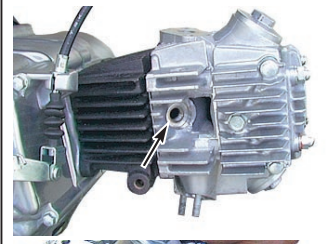
7. シリンダーヘッド左カバー取り付け

◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めた時に右回りしないように回り止めを合わせる)



◇シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。

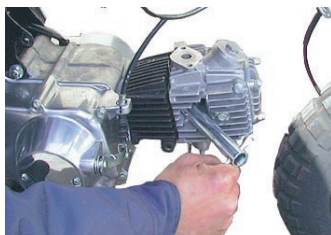
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



8. スパークプラグの取り付け

◇車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
プラグ
トルク：11N・m (1.1kgf・m)



◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け

◇マフラーは、先にテールパイプをリアショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。



◇フランジのカラー2個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付け。



◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇マフラー本体裏側にナットを取り付ける。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇マフラー本体を止めている6角ボルトを取り付ける。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇仮止めの3カ所を締め付ける。

(カブ)

◇マフラーをブレーキペダルとステップの間に通し、フランジ部をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。

◇マフラーガasketをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をピボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。

(指で締まる程度に仮止め)



◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)



◇フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ部
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
本体部
トルク：36N・m (3.5kgf・m)

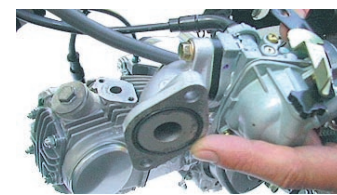


◇仮止めの3カ所を締め付ける。

10. ノーマルキャブレターの取り付け

(モンキー)

◇インレットパイプにOリングが付いていることを確認する。(フレーム NO. Z50J- の車両)



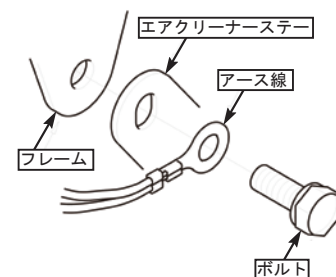
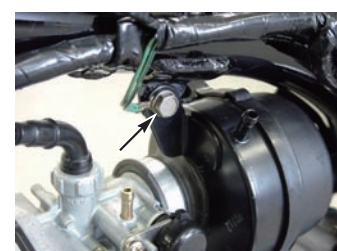
◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共締めで取り付け。(下図参照)

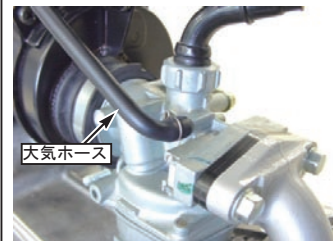
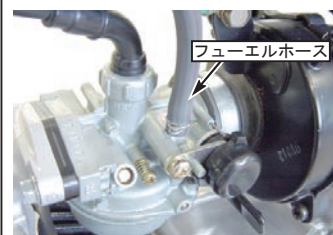
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ストレージタンクのホース(フレーム NO. AB27- の車両)を取り付ける。

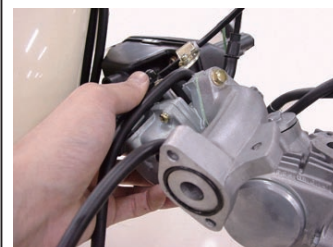


◇フューエルホースと大気ホースを取り付ける。



(カブ)

◇インレットパイプにOリングが付いている事を確認する。



◇チョークケーブルとメインハーネスをバンドで束ねる。



◇エアクリーナーをフレームに左右から1本ずつボルトで止める。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ダクトを付ける。



◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ホーンに線を取り付ける。



◇フューエルコックを2本のネジで取り付ける。



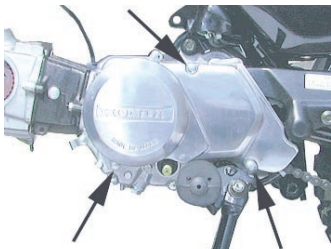
◇フューエルコックをONにする。



11. クランクケース左カバーの取り付け

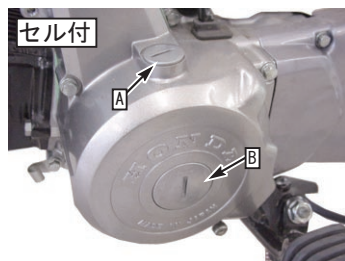
◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇セル付の場合は、A、Bの2つを取り付け、締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
A：2N・m (0.2kgf・m)
B：3N・m (0.3kgf・m)



◇チェンジペダルを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
チェンジペダル
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



12. フロントフェンダーを取り付ける (モンキー)

◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を締めて取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



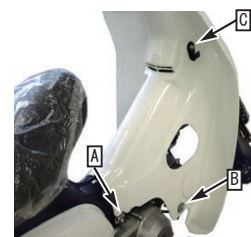
◇タイヤ空気を入れる

12. レッグシールドの取り付け (カブ)

◇レッグシールドの後部からフレームに当て、それから前部をはめていく。

◇A部に12mmのふくろナットをレッグシールドとの間にプレートを挟んで締め付ける。
B部に10mmの長ボルトをレッグシールドの裏にスペーサーを挟んで締め付ける。
C部に10mmのボルトをワッシャを挟んで締め付ける。
左側も同様に取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
A：20N・m (2.0kgf・m)
B、C：10N・m (1.0kgf・m)



◇エンジンから足廻りまで取付けたボルト類に緩みがないかチェックする。

●ご使用前に

1 お問い合わせ

◇一般公道を走行される場合は小型 2 輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付 2 種への変更（注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります）を行い、強制賠償保険の排気量変更の申請を行って下さい。
※原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
◇キット内の原付 2 種マークをお貼り下さい。

2 使用燃料について

◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。
◇当キットはノーマル点火時期にて使用する事に限ります。点火時期を極端に早める場合は対応しかねますのでご了承下さい。

3 取り付け必要品として

◇当キットを取り付け走行する際には以下の部品が取り付けに必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

3-1 オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着は必要です。

必須スーパーオイルポンプ

車種	品 番
12V モンキー・ゴリラ	01-16-0053（加工工具付属） 01-16-0052（加工工具無）
ベンリー CD50/CL50/50S	
12V ダックス	
XR50R/CRF50F	
スーパーカブ 50	
リトルカブ	

3-2 クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝えることが出来ません。
必須クラッチ、強化クラッチ（SPL クラッチ含む）の装着は必要となります。

必須クラッチ

車種	品 番	
12V モンキー・ゴリラ	02-01-0202	（一次減速比変更なし）
ベンリー CD50/CL50/50S	02-01-0214	（一次減速比を 16/69 → 18/67 へ）
12V ダックス	02-01-0215	強化遠心クラッチキット
	02-01-0511	遠心からマニュアルへの変更キット
XR50R/CRF50F	02-01-0512	遠心からマニュアルへの変更キット（XR50R/CRF50F 専用 クラッチ・レバー付）
スーパーカブ 50	02-01-0215	強化遠心クラッチキット
リトルカブ		

4 スプロケットの変更

◇当キットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。
また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ / ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギア化を各自で行って下さい。
※スプロケットはキット内に含まれておりません。
※スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。
※ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。メンテナンススタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S-Stage SCUT 推奨スプロケット（体重 65kg 時）

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット（フロント）	ドリブンスプロケット（リア）
12V モンキー・ゴリラ	8 インチ	マニュアル	4 速	16	23
		強化スペシャル	4 速	16	25
	10 インチ	マニュアル	4 速	16	25
		強化スペシャル	4 速	16	28
ベンリー CD50/CL50/50S	17 インチ	マニュアル	4 速	16	42、43（ノーマル）
12V ダックス	10 インチ	遠心	3 速	16	31
スーパーカブ 50	17 インチ	遠心	4 速	16	42
			3 速	16	35
リトルカブ	14 インチ	遠心	4 速	16	41（ノーマル）
			3 速	16	35

◇ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすることが出来ない、または足りなくなる場合があります。
チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。
特に、モンキーの場合などはスイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

●更なる性能を発揮させるために

1 キャブレター

S-Stage の出力を有効に引き出す、各車種専用のビックボアキャブレターキットを取り付けることにより、更なるパワーアップが可能です。

S-Stage SCUT 推奨ビックボアキャブレターキット

車種	品 番
12V モンキー・ゴリラ	03-05-320 (PC18)
	03-05-0045 (VM22)
ベンリ― CD50/CL50/50S	03-05-033 (PC20)
12V ダックス	03-05-321 (PC18)
	03-05-0047 (VM22)
XR50R/CRF50F	03-05-3244 (PC18)
スーパーカブ 50	03-05-039
リトルカブ	

2 マフラー

更なるパワーアップには弊社製各種マフラーをご使用下さい。

3 オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

○詳しくは、弊社パーツカタログ又はホームページをご参照下さい。

<http://www.takegawa.co.jp>